

令和 2 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

令和2年

青森県海面漁業に関する調査結果書（属地調査年報）

青森県農林水産部

（背表紙）

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき22市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、令和2年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、御協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

青森県農林水産部長 坂田 裕治

目 次

調査の要領	1
結果の概要	2
対前年比較表	
第 1 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 か年平均比）	12
第 3 表 月別漁獲数量比較表	14
第 4 表 月別漁獲金額比較表	14
第 5 表 分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表 分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表 主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表 主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表 漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表 漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表 市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表 市町村別漁獲金額比較表	21
県計表	
第 1 表 年 総 括 表	22
第 2 表 月 別 表	36
市町村計表	
第 1 表 魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	67
第 3 表 月別漁獲数量及び漁獲金額	72

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

令和2年の青森県の漁獲数量は167,188トン、漁獲金額は341億8,348万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量では24,134トン(12.6%)減少し、漁獲金額では75億3,984万円(18.1%)減少した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量及び漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」、「まいわし」、「するめいか」の漁獲数量が大きく減少したほか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の低下に伴い、漁獲金額も大きく減少したものと考えられる。

(3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では55,560トン(25.0%)減少し、漁獲金額では179億8,260万円(34.5%)減少した。

漁獲が好調であった魚種は「あかいか」(漁獲数量対平年比148.0%)等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「さば」(55.8%)、「ぶり」(43.1%)、「さけ」(42.2%)等であった。

(4) 過去10年間の平均との比較

令和2年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去10年間の平均と比較すると数量では51,506トン(23.6%)下回っており、金額では153億8,943万円(31.0%)下回っていた(表、図1)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,659	△ 0.1	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,103	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
平成22年～平成31年 までの平均 (A)	218,694		49,573	
令和2年/(A)%	76.4 %		69.0 %	

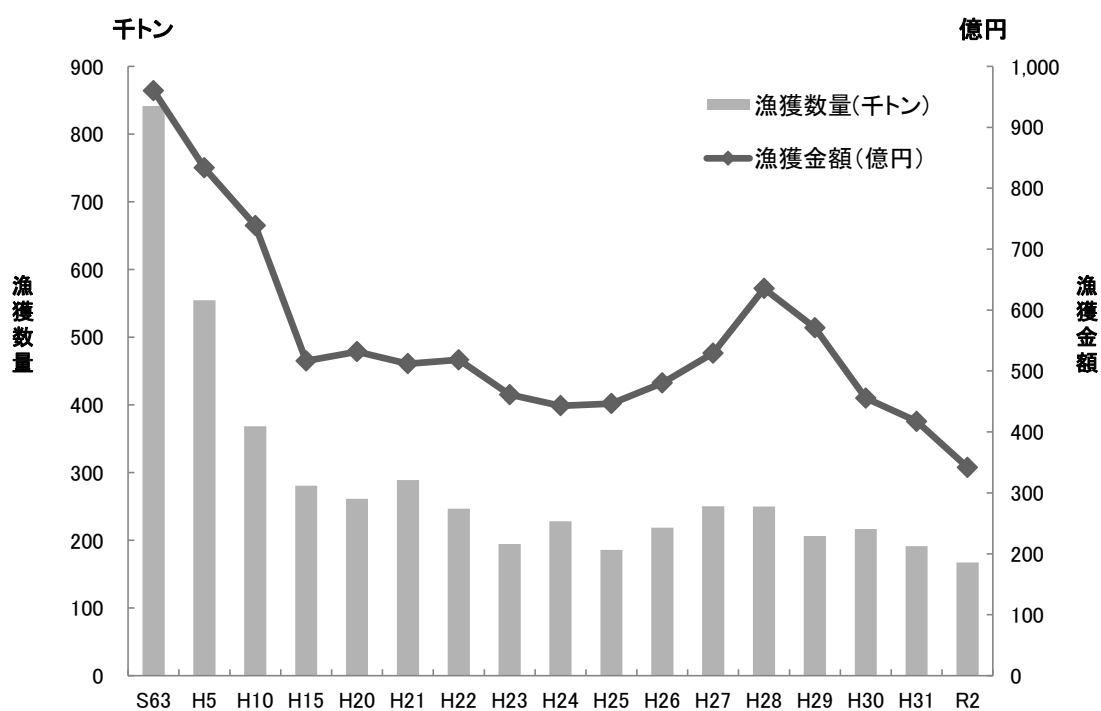


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

令和2年の漁獲数量を月別にみると、6月が26,305トンで最も多く全体の15.7%を占め、次いで7月の24,287トン(14.5%)、5月の23,402トン(14.0%)となっている(図2、第3表)。

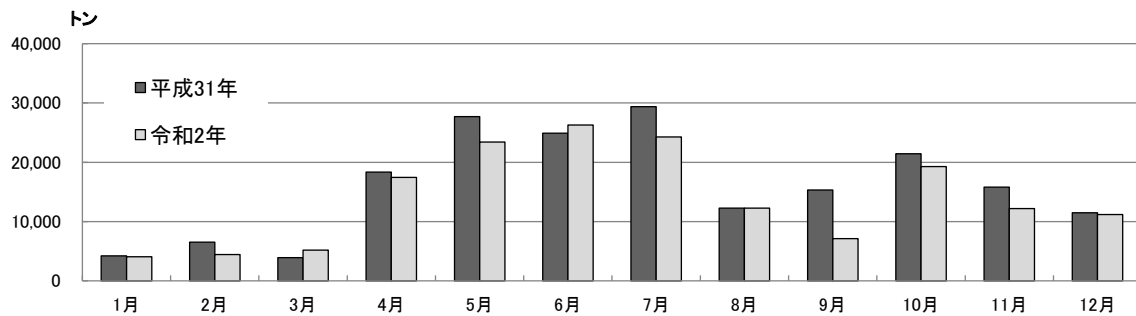


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

令和2年の漁獲金額を月別にみると、7月が43億498万円で最も多く全体の12.6%を占め、次いで12月の38億4,827万円(11.3%)、11月の37億8,121万円(11.1%)となっている(図3、第4表)。

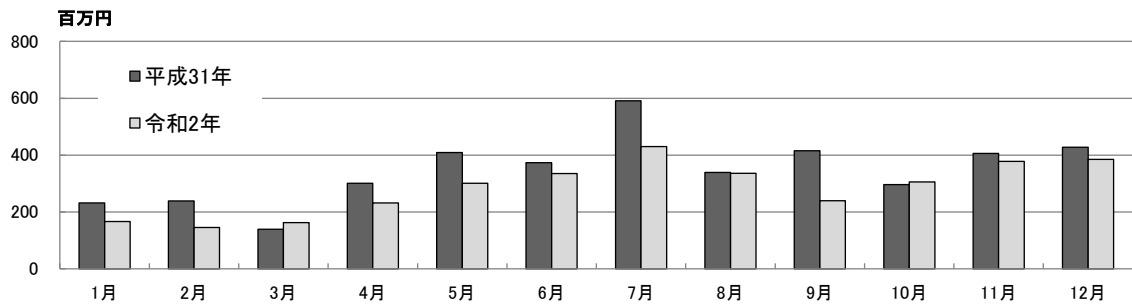


図3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が81,064トンで最も多く全体の48.5%を占め、次いでまいわし等の「魚類」63,950トン(38.3%)、「その他の水産動物」21,148トン(12.6%)、「藻類」1,027トン(0.6%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は1,833トン(2.8%)減少、「貝類」は18,857トン(18.9%)減少、「その他の水産動物」は2,718トン(11.4%)増加、「藻類」は725トン(41.4%)減少した(図4、第5表)。

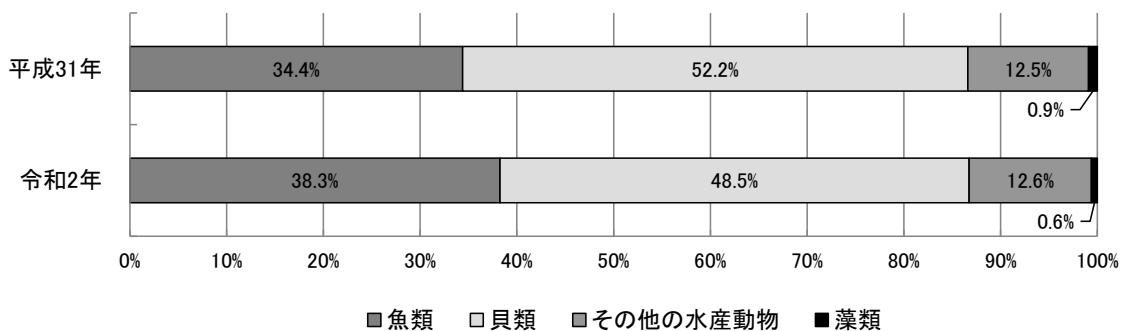


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が126億3,131万円が最も多く全体の37.0%を占め、次いで「魚類」116億8,075万円(34.2%)、「貝類」95億2,163万円(27.9%)、「藻類」3億4,979万円(1.0%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は9億3,746万円(7.4%)減少、「貝類」は43億4,324万円(31.3%)減少、「その他の水産動物」は19億109万円(13.1%)減少し、「藻類」は3億5,805万円(50.6%)減少した(図5、第6表)。

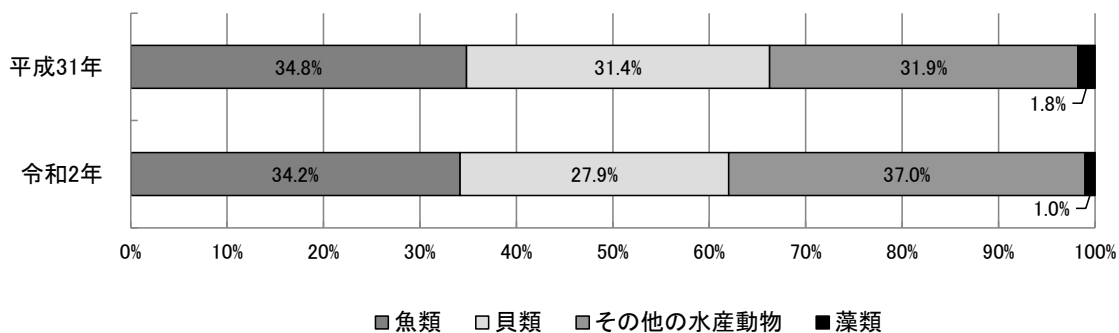


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」80,510トン（構成比48.2%）、「いわし類」22,863トン（13.7%）、「さば」22,206トン（13.3%）、「するめいか」10,606トン（6.3%）、「あかいか」6,528トン（3.9%）、「たら」3,435トン（2.1%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「さば」2,847トン（14.7%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「ほたてがい」18,644トン（対前年減少率18.8%）、「いわし類」5,384トン（19.1%）、「するめいか」1,411トン（11.7%）などとなっている（図6、第1表、第7表）。

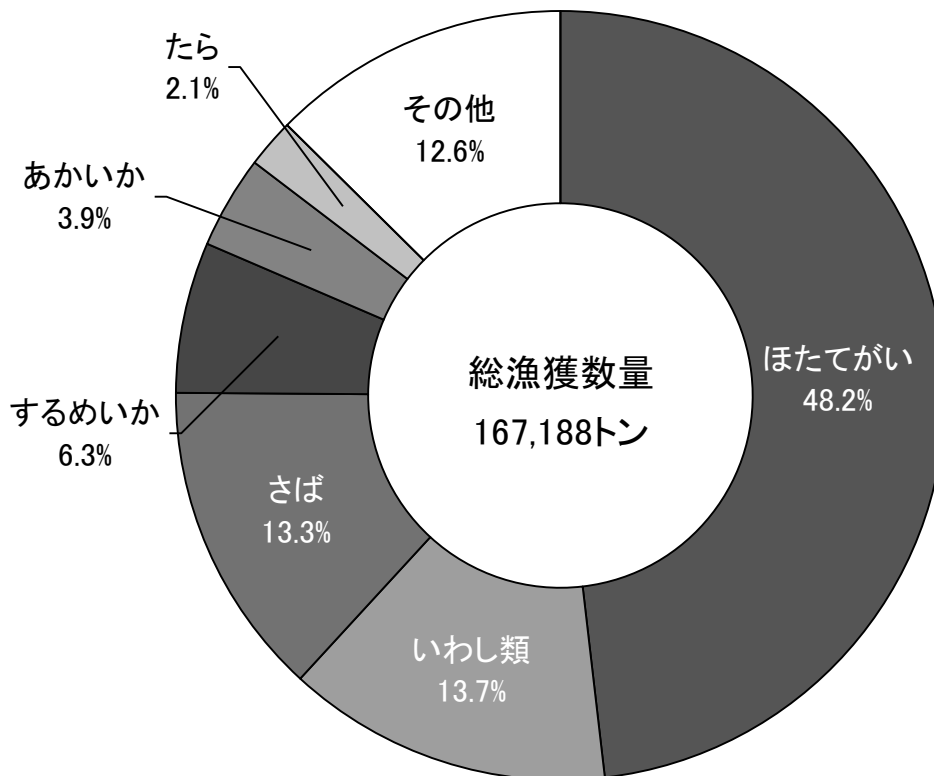


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」92億1,582万円（構成比27.0%）、「するめいか」63億9,575万円（18.7%）、「さば」27億6,598万円（8.1%）、「あかいか」22億2,136万円（6.5%）、「まぐろ」18億2,752万円（5.3%）、「なまこ」17億7,012万円（5.2%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「さば」5億133万円（対前年増加率22.1%）、「なまこ」758万円（0.4%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「ほたてがい」42億6,867万円（対前年減少率31.7%）、「あかいか」7億8,943万円（26.2%）、「するめいか」7億7,476万円（10.8%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

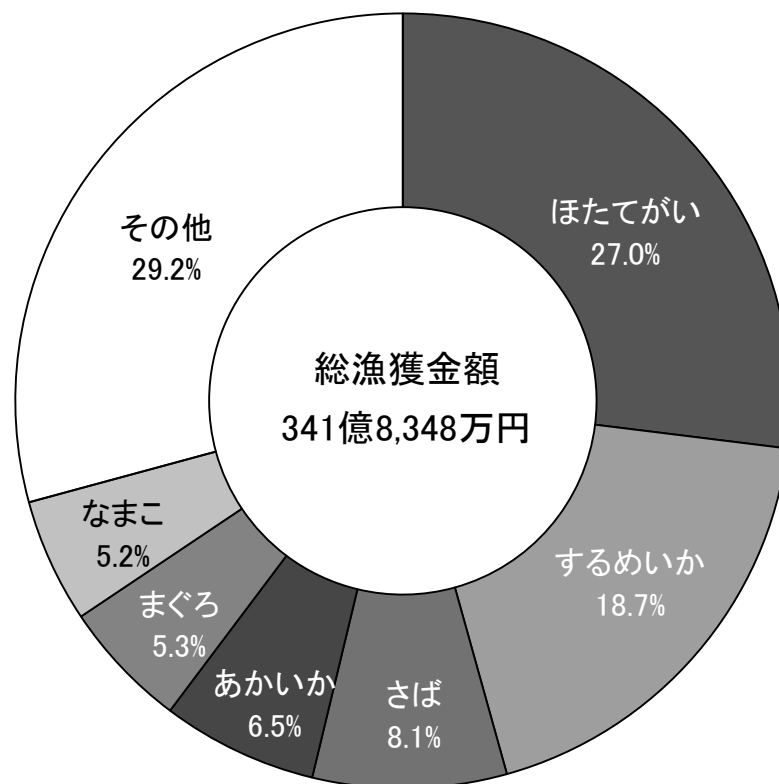


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が81,287トン（構成比48.6%）で最も多く、次いで「まき網漁業」40,716トン（24.4%）、「いか釣漁業」12,216トン（7.3%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「小型定置網漁業」1,532トン（対前年増加率21.8%）、「遠洋底曳網漁業」901トン（127.4%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「養殖業」17,950トン（対前年減少率18.1%）、「まき網漁業」5,221トン（11.4%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が96億3,658万円（構成比28.2%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」61億8,821万円（18.1%）、「まき網漁業」40億2,657万円（11.8%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「刺網漁業」3億2,115万円（対前年増加率25.3%）、「遠洋底引網漁業」1億9,431万円（65.6%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」39億317万円（対前年減少率28.8%）、「沖合底曳網漁業」9億6,486万円（27.3%）などとなっている（第10表）。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 60,995 トンで最も多く全体の 36.5%を占め、次いで平内町 24.5%、青森市 8.7%、外ヶ浜町 7.5%、むつ市 4.9%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、外ヶ浜町 587 トン(対前年増加率4.9%)、三沢市 340 トン(19.1%)、今別町 336 トン(299.5%)、野辺地町 118 トン (4.8%) となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、平内町 9,122 トン (対前年減少率 18.2%)、青森市 5,916 トン (28.9%)、八戸市 5,016 トン (7.6%)、横浜町 2,019 トン (35.3%) ほか 12 市町村となっている (図 8、第 11 表)。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 121 億 8,432 万円で最も多く全体の 35.6%を占め、次いで平内町 15.5%、むつ市 7.0%、東通村 5.6%、外ヶ浜町 5.3%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、三沢市 1 億 8,782 万円 (対前年増加率 23.4%)、今別町 1 億 3,752 万円 (145.7%)、階上町 6,008 万円 (15.6%)、つがる市 976 万円 (121.6%) ほか 1 市となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、平内町 15 億 7,245 万円 (対前年減少率 22.9%)、八戸市 14 億 311 万円 (10.3%)、青森市 9 億 2,241 万円 (34.8%)、大間町 8 億 5,791 万円 (35.0%) ほか 13 市町村となっている (図 9、第 12 表)。

図 8 市町村別漁獲数量の構成比

図 9 市町村別漁獲金額の構成比

